



住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA



第36回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会資料

需要予測の 取組について

令和5年3月24日(金)

宇都宮市・芳賀町

資料3



▶ 目次

- 1 需要予測の流れとこれまでの取組
- 2 沿線企業・学校等へのヒアリング調査の概要
- 3 アンケート調査・都市活動調査の概要
- 4 沿線企業・学校等へのヒアリング調査の結果
- 5 ヒアリング時における企業等からの意見
- 6 新型コロナウイルス感染症の影響
- 7 今後の需要予測に係る取組について
- 8 今後のスケジュール



▶ 1 需要予測の流れとこれまでの取組



<調査>

【平成26年度】

「県央広域都市圏生活行動実態調査」 (PT調査)

- ・ 宇都宮都市圏全体を対象
- ・ 目的別、手段別の交通実態を把握

「沿線企業・学校等へのヒアリング調査」 (令和4年11月～令和5年1月)

- ・ 現状の通勤・通学の実態把握
- ・ 現状交通手段における課題の把握
- ・ 新型コロナウイルス感染症による働き方の変化の把握

「沿線従業者・学生等アンケート」 (令和4年12月～令和5年2月)

- ・ 現状の交通行動の把握
- ・ LRTが宇都宮駅東西で運行した場合における交通行動の変化の把握

「都市活動調査」 (令和4年9月～)

- ・ 宇都宮市、芳賀町を対象

<需要予測>

駅東西の需要予測（四段階推計法） (軌道運送高度化実施計画策定に向けて)

【令和5年度実施予定】

- ・ 一定条件（道路空間再編，道路ネットワーク等）の下，全目的，全手段からのLRT転換需要の把握
- ・ 施設計画や運行計画の検討
- ・ 事業採算性や整備効果の検討

【令和6年内】

「軌道運送高度化実施計画」の策定・申請

【需要予測に係る令和4年度の取組】

- ・ 令和4年11月より，現状の通勤・通学の実態を把握するため，宇都宮駅東西のLRT沿線半径1km圏内に立地する企業・学校に対し，ヒアリング調査を実施
- ・ 令和4年12月より，ヒアリングを実施した企業・学校の従業者・学生等に対し，現状の交通行動及びLRTが宇都宮駅東西で運行した場合における交通行動の変化を把握するため，従業者・学生等アンケートを実施（アンケート調査結果は現在，集計・分析中であり，取りまとめ次第，本検討委員会で報告予定）

▶ 2 沿線企業・学校等へのヒアリング調査の概要



【沿線企業・学校等ヒアリングの目的】

- ・ 現状の通勤・通学の実態把握
- ・ 現状交通手段における課題の把握
- ・ 新型コロナウイルス感染症による働き方の変化の把握

【対象企業等】

- ・ 宇都宮駅東西におけるLRT沿線の半径 1 km圏内に立地する企業・学校

【主なヒアリングの項目】

意図	質問項目
協力意向把握	アンケートの協力意向
現状実態把握	始業・終業・通勤等ピーク時間
〃	現在の従業員数・学生数
〃	従業員・学生等の居住地
〃	現在の通勤等手段内訳
〃	企業バス等の有無・利用者数等
〃	通勤等交通における課題

	駅西側	駅東側
企業	16社	22社
学校	13校	4校
合計	29者	26者
東西合計	55者	

【備考】

- ・ ヒアリングは各企業等の総務・人事部門等を実施
- ・ その他，在宅勤務の状況を確認するなど，新型コロナウイルス感染症による出勤形態の変化も確認

▶ 3 アンケート調査・都市活動調査の概要



「アンケート調査」

【調査票】

参考資料 1

【目的】

- ・ LRT沿線に立地する企業・学校に通勤・通学する従業者・学生の現状の交通行動の把握
- ・ LRTが宇都宮駅東西で運行した場合における交通行動の変化を把握

【調査範囲】

宇都宮駅東西におけるLRT沿線の半径 1 km圏内に立地する企業・学校（企業 5 5 社，学校 1 7 校）

【調査時期】

令和 4 年 1 2 月～令和 5 年 2 月

【配布数及び回収数】

	対象者数	有効回答者数	有効回収率
企業	30,933人	7,489人	24.2%
学校	18,701人	5,960人	31.9%
合計	49,636人	13,449人	27.0%

「都市活動調査」

【調査票】

参考資料 2

【目的】

都市構造及び社会情勢の変化に伴う，市民・町民の行動及び活動の変容を捉えるため

【調査範囲】

宇都宮市及び芳賀町（1市1町）

【調査時期】

令和 4 年 9 月～1 1 月

【配布数及び回収数】

	対象世帯	有効回収世帯	有効回収率
宇都宮市	19,650世帯	5,541世帯	28.2%
芳賀町	500世帯	183世帯	36.6%
合計	20,150世帯	5,724世帯	28.4%

▶ 調査結果を今後実施する需要予測へどのように活用していくかについては今後，検討していく。

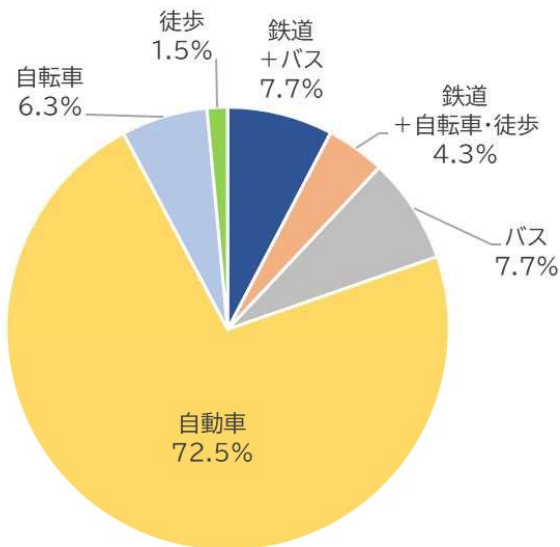
▶ 4 沿線企業・学校等へのヒアリング調査の結果



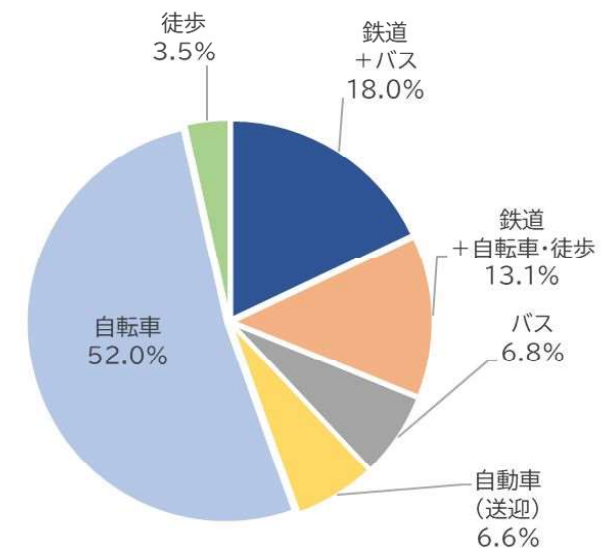
【LRT沿線企業等における通勤・通学の実態(全体)】

調査項目	調査対象	調査結果
企業バス利用者	5社（通勤）	2,035人／日
通学バス利用者	6校（通学）	592人／日
通勤ピーク時間	55社（通勤）	朝ピーク：7:30～9:00 夕ピーク：17:00～18:00
通学ピーク時間	17校（通学）	朝ピーク：7:30～8:30 夕ピーク：16:00～17:00

【通勤交通手段内訳（55社）】



【通学交通手段内訳（17校）】



▶ 5 ヒアリング時における企業等からの意見



【現状通勤・通学交通に係る課題等】

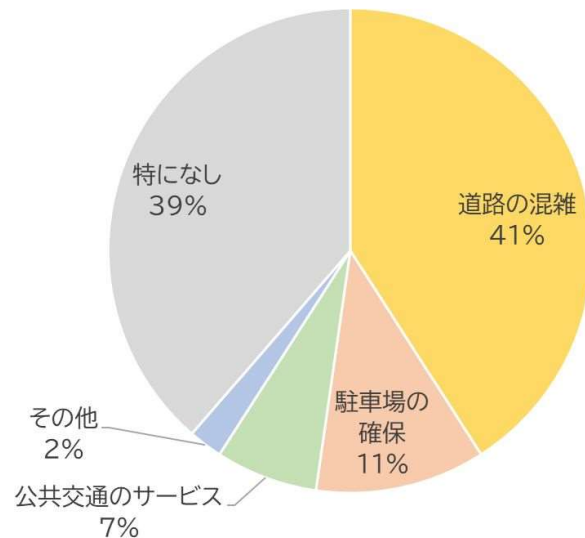
1 通勤

- ・ 多くの企業が通勤時間帯における慢性的な道路の混雑を課題と回答している。
- ・ 自動車通勤に関しては、駐車場の確保・通勤時の安全性確保といった課題も多く回答されている。
- ・ 公共交通に関しては、道路混雑による定時性が課題である、と回答した企業が多かった。

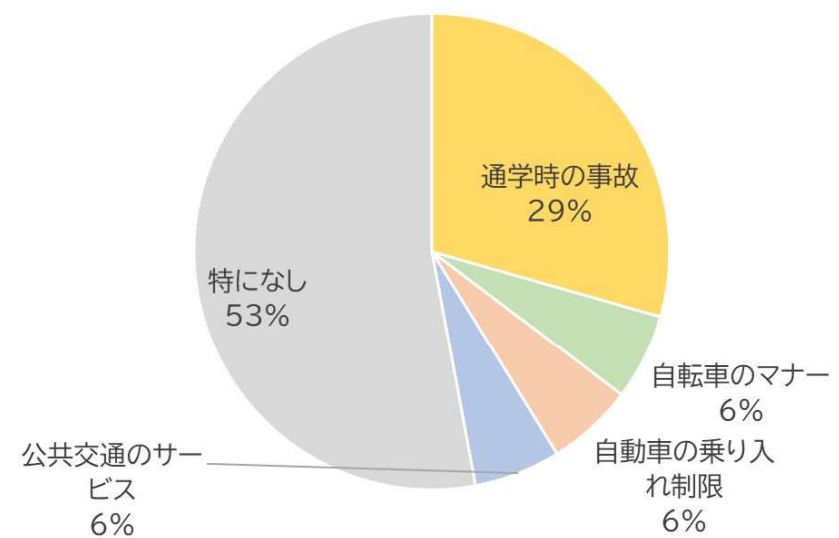
2 通学

- ・ 多くの学校が通学時の安全性を課題と回答しており、最も多い回答であった。
- ・ そのほか、自転車の交通マナー・路線バスの遅延などが課題として挙げられた。

■通勤交通における課題



■通学交通における課題



【LRTを利用する条件】

- ・ 多くの企業等が、運行間隔・時間帯・所要時間の面に高いサービスレベルを求めており、「朝・夕の通勤時間帯に10分間隔で運行してほしい」、「LRTの利用により、現状の通勤時間を短縮したい」といった声があった。
- ・ また、宇都宮駅西側への延伸を望む意見もあった。

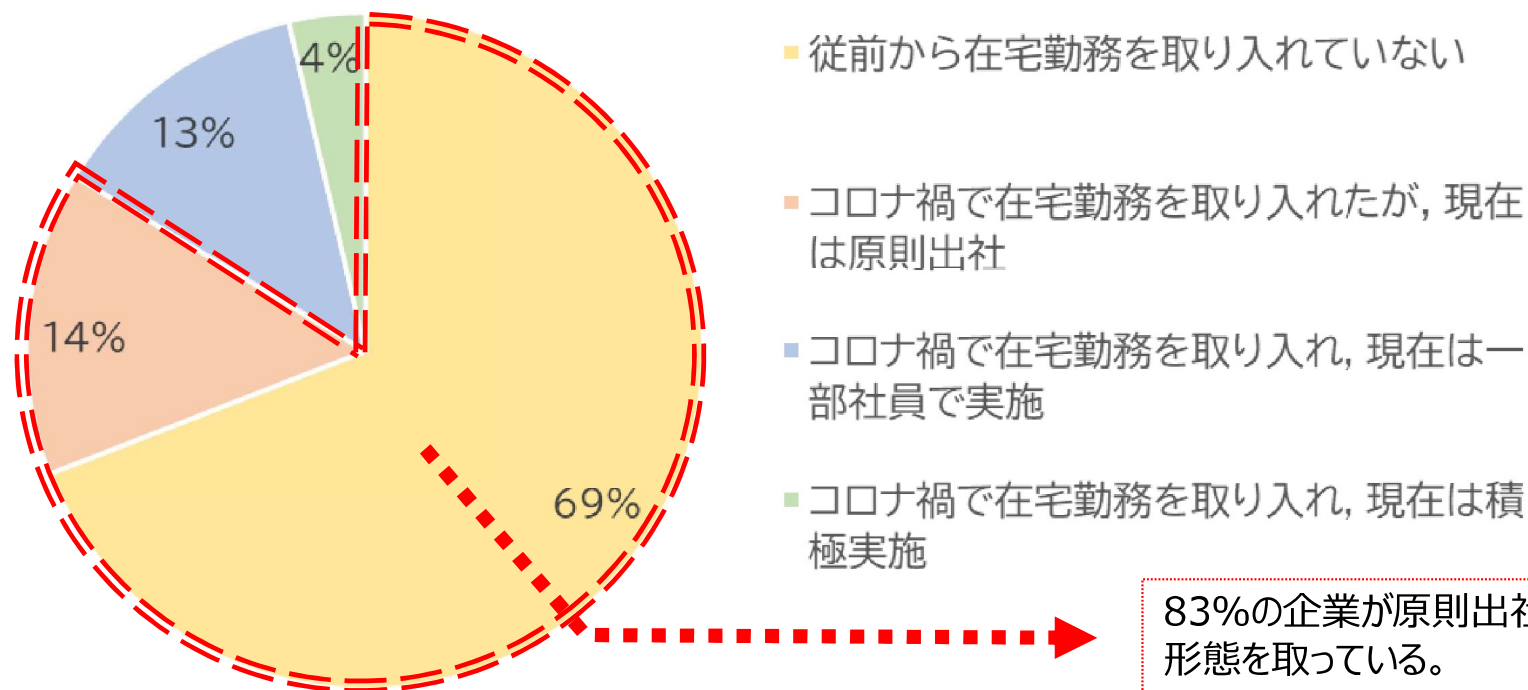
▶ 6 新型コロナウイルス感染症の影響



□ 企業ヒアリングによる新型コロナウイルス感染症の影響確認

- ・ 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下においても、勤務形態により在宅勤務を実施していない企業が多数あり。
 - ・ 緊急事態宣言下において、在宅勤務を取り入れた企業は一定数あったものの、ヒアリング実施時点では「原則出社」に切替えているか、「一部社員のみでの取り入れ」までにとどまっている。
- ➔ ヒアリング結果を踏まえ、コロナ禍において在宅勤務を取り入れる動きはあったものの、現時点においては、原則出社形態をとっている企業が多くなっていると考えられる。

■ 在宅勤務の状況（ヒアリング対象企業）



▶ 6 新型コロナウイルス感染症の影響



□ 新型コロナウイルスに係る国の動向

- ・ マスク着用がこれまで「屋外原則不要」、「屋内原則着用」とされていたが、令和5年3月13日より「個人の判断」が基本
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の取扱いについて、令和5年5月8日より「新型インフルエンザ感染症」から「5類感染症」に移行となることが決定
- ➔ 本年度から徐々に制限を緩和する動きが加速。市民生活がコロナ禍前の状況に戻りつつある。

新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが
令和5年3月13日から
マスク着用は**個人の判断**が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために
マスクを着用しましょう

受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時

通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために
マスク着用が効果的です

高齢者

慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など

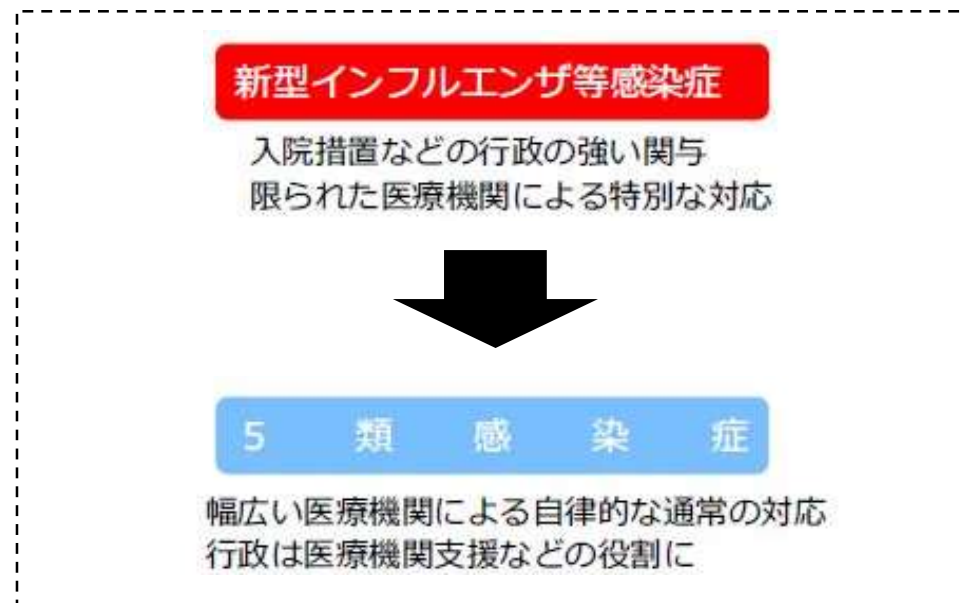
妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

■ 新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類感染症に移行



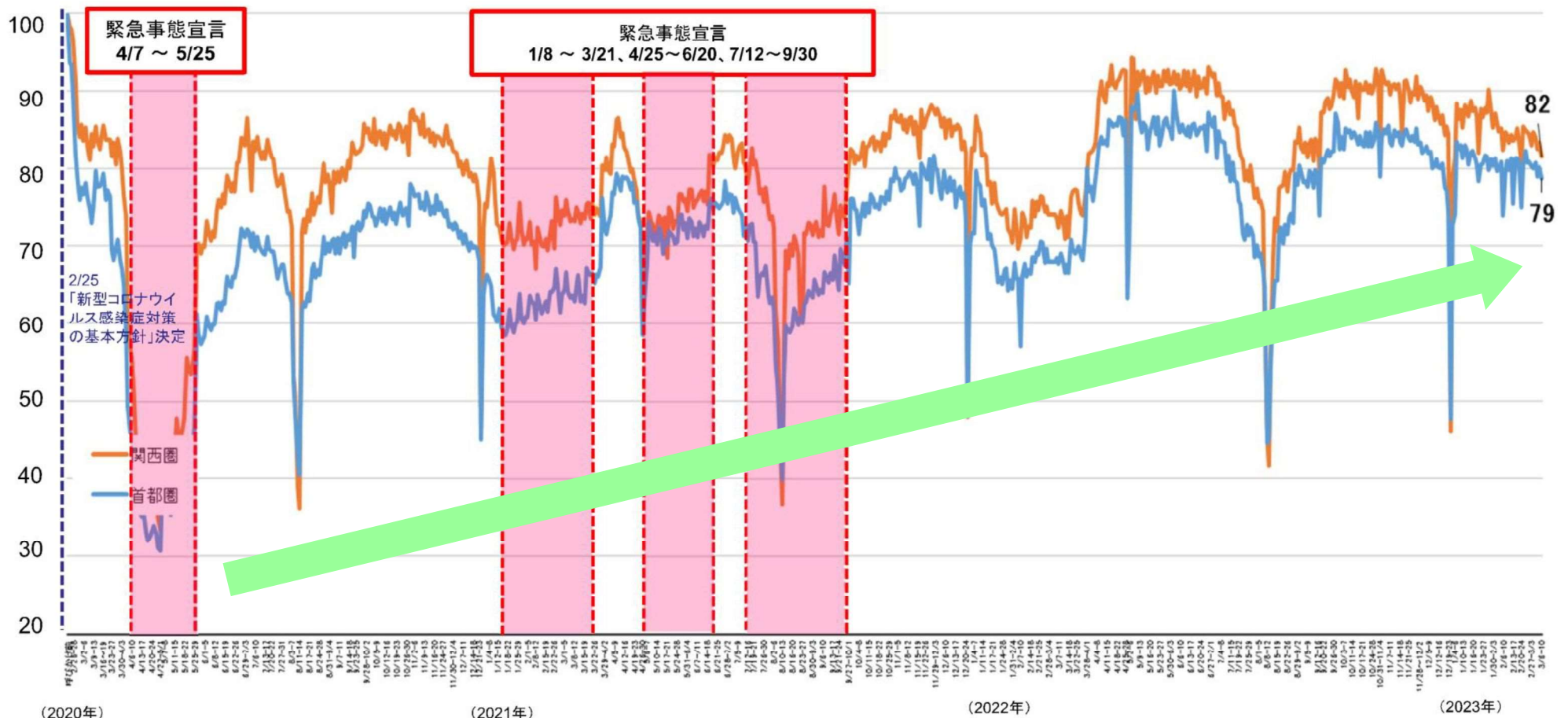
※出典：厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

▶ 6 新型コロナウイルス感染症の影響



□ 駅の利用状況（首都圏・関西圏[速報値]）

- ・ 新型コロナウイルス感染症をきっかけとしたテレワークや時差出勤の呼びかけ後の、首都圏・関西圏におけるピーク時間帯の駅利用状況は、**緊急事態宣言下にてコロナ禍前の最大約3割まで減少**
- ・ 令和5年3月上旬（3/6～3/10）の駅利用状況は**コロナ禍前の約8割まで回復**
- ➔ コロナ禍においては鉄道利用者は大幅に減少していたが、**直近では回復傾向にあり、今後も緩やかに回復基調**



※出典：国土交通省ホームページ https://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_fr1_000062.html

▶ 6 新型コロナウイルス感染症の影響

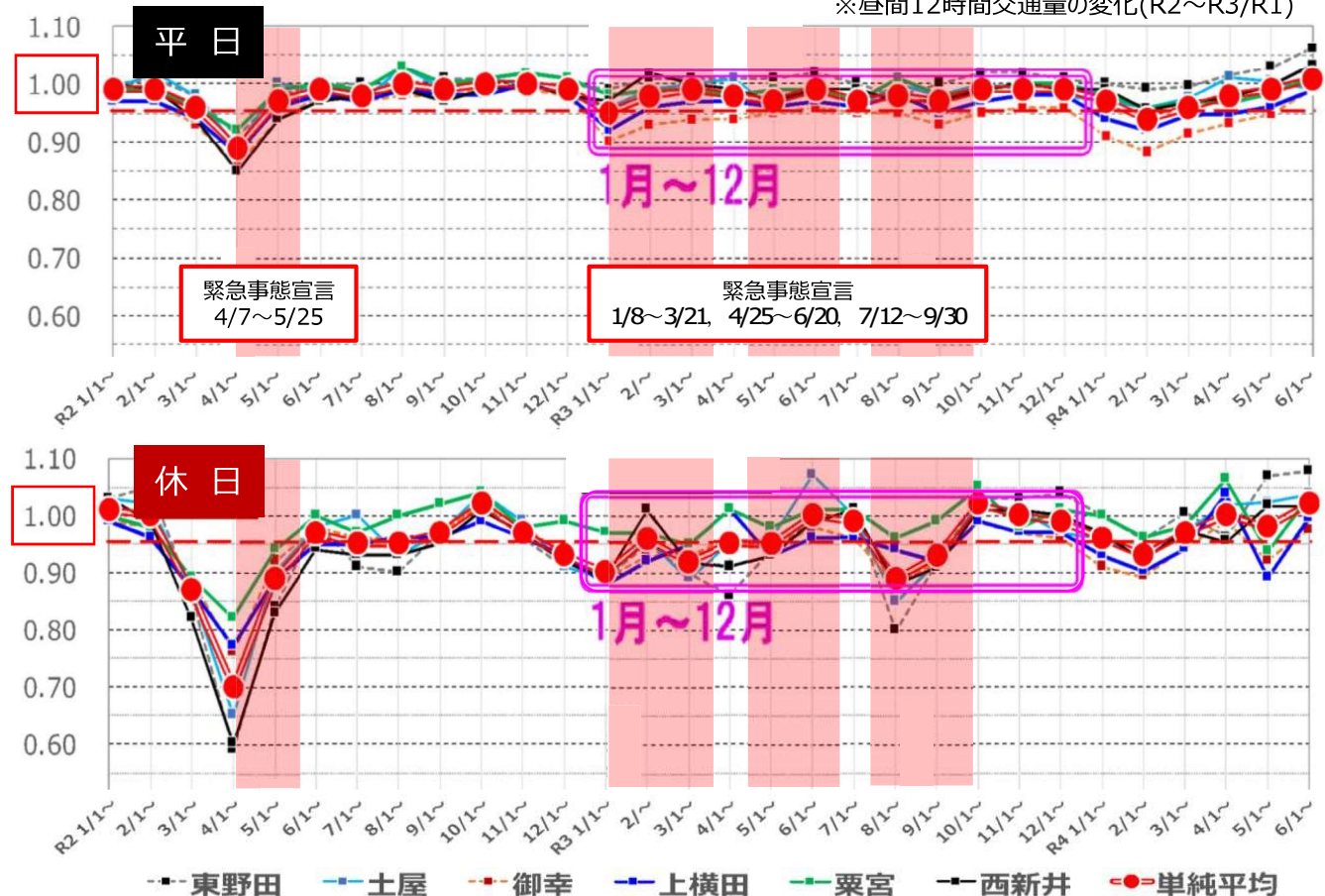


□ 交通量の状況（～R4.5, 昼間12時間, 全車種）

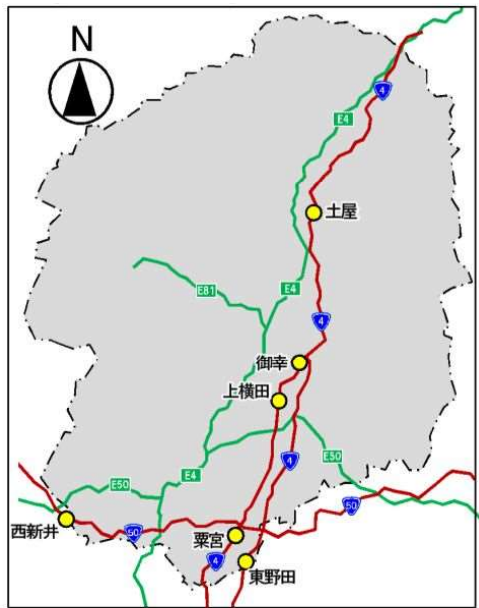
- ・ R3年（1月～12月）の交通量（トラカン6箇所）は、コロナ禍前（R1年）と比べ平日0.98倍、休日0.96倍で概ね平常時の状況に等しい。

■ トラカン6箇所の平日12時間平均交通量の対R1年比

※昼間12時間交通量の変化(R2～R3/R1)



■ 直轄トラカン設置位置(6箇所)



※出典：第27回道路行政マネジメントを实践する栃木県会議

注) H31.1～R1.12, R2.1～R3.12, R4.1～R4.6の直轄トラカンデータ(祝日を除く月～金)より

▶ 7 今後の需要予測に係る取組について



□ これまでの総括

- ・ 企業ヒアリングの結果や国の動向等を踏まえると、新型コロナウイルス感染症の影響は、緊急事態宣言下と比較しても少なくなっていることから、**新型コロナウイルス感染症が市民生活に影響する特異な時期は落ち着きつつあり**、コロナ禍前に近い状況へ推移していくことが想定される。



- ・ 東側で実施した需要予測の手法等をベースに、平成26年度に実施した県央都市圏生活行動実態調査の情報や今年度実施したアンケート調査等の結果を活用し、令和6年内の特許申請に向け、宇都宮都市交通戦略や各種まちづくり施策等を踏まえ、**令和5年度より需要予測を実施する**。

□ 令和5年度に向けた需要予測の基本的な考え方

- ・ 市民等の交通行動の変化を直接把握することができる今回実施した「アンケート調査」の利用見込みと、駅東側の需要予測でも用いた「四段階推計法」による需要予測結果を比較しながら傾向を確認する。
- ・ 四段階推計法的前提条件である人口フレーム（人口・土地利用動向等）や交通サービス水準（所要時間や費用等）、交通ネットワーク（道路ネットワークや公共交通ネットワーク）に加え、本市が進めるまちづくり施策（人口誘導施策、公共交通利用促進施策等）を的確に反映した予測を行う。

- ▶ 需要予測に必要な前提条件等の内容については、今後検討していく。

▶ 8 今後のスケジュール



令和5年4月～	<ul style="list-style-type: none">・アンケート調査の結果報告・需要予測の実施に係る前提条件や予測手法等の検討・需要予測の実施, 事業採算性の確認等 <p>※具体的な内容等は今後検討していく</p>
令和6年内	軌道事業の特許申請
令和8年内	工事着手

調査票(例:通勤用)

参考資料 1

問1 お住まいについてうかがいます。

問 1-1 ご自宅の住所をお答えください。

(郵便番号7ケタ) (市区町村) (町字) (丁目)
 [] - [] [] [] [] [] []

記入例 1) [320-8540] 宇都宮市 [旭] [] 丁目 []

記入例 2) [321-0901] 宇都宮市 [平出町] [] []

問2 現在の平日(祝日を除く月曜日から金曜日)における通勤行動についてうかがいます。

問 2-1 職場の始業時刻は決まっていますか。

1. 決まっている → [] 時 [] 分
 2. 決まっていない(フレックスタイム制や日勤・夜勤シフトがある場合など)

問 2-2 通勤先に向けて自宅を出発する時刻と勤務先に到着する時刻は何時頃ですか。

注 1) 始業時刻が複数の場合は、平日で最も多い通勤のことをご記入ください。

出発時刻: [] 時 [] 分頃に自宅を出発
 到着時刻: [] 時 [] 分頃に通勤先に到着

問 2-3 通勤交通手段は何ですか。また、手段ごとにかかる通常の所要時間は何分程度ですか。

注 1) 日によって交通手段が異なる場合は、通常最も多く利用されている手段をご記入ください。

注 2) 複数の交通手段を利用して通勤されている方は、利用順にご記入ください。

自宅 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 通勤先
 [] 分 [] 分 [] 分 [] 分 [] 分

交通手段

- 1 徒歩
- 2 自転車
- 3 オートバイ・原付
- 4 自動車(自分で運転)
- 5 自動車(送迎)
- 6 企業バス
- 7 路線バス
- 8 鉄道

記入例 1) 自宅からマイカーで職場付近の駐車場に車を止め、そこから歩いて通勤している方

自宅 ⇒ 4 ⇒ 1 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 通勤先
 [20]分 [10]分 []分 []分 []分

記入例 2) 自宅から送迎で JR 宇都宮駅に行き、企業バスに乗り換え通勤している方

自宅 ⇒ 5 ⇒ 6 ⇒ 1 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 通勤先
 [15]分 [20]分 [5]分 []分 []分

記入例 3) 自宅付近から路線バスで鉄道駅に行き、鉄道で JR 宇都宮駅に行き、路線バスで職場付近のバス停に行き、そこから歩いて通勤する方

自宅 ⇒ 1 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 7 ⇒ 1 ⇒ 通勤先
 [5]分 [10]分 [25]分 [15]分 [5]分

問 2-4 問 2-3 で自宅から通勤先まで「4 自動車(自分で運転)」、「5 自動車(送迎)」で通勤していると回答された方にうかがいます。道路の混雑等により勤務先への到着が遅れる可能性を考慮して何分程度の余裕時間をみて行動していますか。

[] 分程度

問 2-5 問 2-3 で自宅から通勤先まで「4 自動車(自分で運転)」で通勤していると回答された方にうかがいます。

駐車場付近に到着してから駐車するまでに要する待ち時間と、駐車場から勤務先までの所要時間は何分程度ですか。

注 1) 駐車するまでに要する待ち時間が無い場合は、[0]分と記載してください。

・駐車までにかかる待ち時間・・・ [] 分程度
 ・駐車場から勤務先までの所要時間・・・ [] 分程度

問 2-6 問 2-3 で「7 路線バス」を選択された方にうかがいます。

乗車・降車するバス停名をお答えください。

[] で乗車、 [] で降車

問 2-7 現在の通勤交通手段やそれ以外の現在利用していない交通手段において、不安・課題を感じる場所はありますか (いくつかでも○)

1. 歩道や車道などの狭さといった快適性	8. 公共交通に係る乗り継ぎ(待ち時間や利便性など)
2. 交通事故のリスク	9. バス停や車内、施設の快適性や清潔性
3. 慢性的な道路の渋滞	10. 運行情報の発信が充実していない
4. 自転車専用道の少なさ	11. 悪天候時のバス・道路混雑
5. 公共交通の混雑	12. その他
6. 公共交通の運行本数の少なさ	()
7. 公共交通の遅れ	

問 2-8 問 2-3で「8 鉄道」を利用すると回答された方で、鉄道を利用した後、通勤先まで「1 徒歩・2. 自転車」を利用すると回答された方にかがいます。鉄道を利用した後、徒歩・自転車を利用する理由をお答えください。(いくつかでも○)

1. 勤務先に行くバス路線が無いから	6. バスの遅れが発生することがあるから
2. 徒歩・自転車で十分な距離だから	7. 健康のため
3. バスに乗り換えるまで時間がかかるから	8. コロナ対策のため
4. バスの運賃を節約したいから	9. 通勤中/帰宅中に立ち寄る場所があるため
5. バスが利用したい時間帯に運行していないから	10. その他
	()

問3 LRTが宇都宮駅西側に延伸し、芳賀・高根沢工業団地から教育会館まで現時点で運行している前提でうかがいます。

問 3-1 LRTを通勤交通手段として利用しますか。

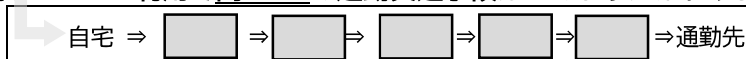
注 1) 運行ルート、停留場位置、運行本数など同封の『LRT計画の概要』を参考にご記入ください。

注 2) この問いでは、勤務先において、バスや電車など公共交通機関を利用する場合の通勤手当が支給されるものとしてご記入ください。

注 3) 路線バスから目的地まで途中 LRTに乗り換えても、路線バスだけで目的地まで利用された場合と同額になるとしてご記入ください。

1. 定期的にご利用と思う (年・月・週 日利用する。) ※年・月・週いずれかに○をつけ、どれくらいの利用が想定されるか記入してください。	2. 実際に運行しないとわからない 3. 利用しないと思う 2. と 3. の方はこれで終わりです
---	---

問 3-2 LRT利用で問 2-3の通勤交通手段はどのようにかわりますか。



記入例 1) 自宅からLRTで通勤する方

自宅 ⇒ 1 ⇒ 8 ⇒ 1 ⇒ □ ⇒ □ ⇒ 通勤先

記入例 2) 自宅からマイカーで JR宇都宮駅に行き、LRTに乗り換え通勤する方

自宅 ⇒ 4 ⇒ 8 ⇒ 1 ⇒ □ ⇒ □ ⇒ 通勤先

記入例 3) 自宅付近から路線バスで鉄道駅に行き、鉄道で JR宇都宮駅に行き、LRTで通勤する方

自宅 ⇒ 1 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 1 ⇒ □ ⇒ 通勤先

交通手段

- 1 徒歩
- 2 自転車
- 3 オートバイ・原付
- 4 自動車(自分で運転)
- 5 自動車(送迎)
- 6 企業バス
- 7 路線バス
- 8 LRT
- 9 鉄道

問 3-3 問 3-1で「1定期的に利用すると思う」と回答された方にかがいます。

自宅から通勤先に向かう際、LRTにどの停留場で乗車・降車されますか。

同封資料:LRT計画概要の停留場No.(1~29)をご記入ください。

No. []で乗車, No. []で降車

問 3-4 問 3-1で「1定期的に利用すると思う」と回答された方にかがいます。

LRTを利用する理由をお答えください。(いくつかでも○)

1. 時間どおりに移動できるから	4. 交通事故の心配がないから
2. 早く移動できるから	5. その他
3. ゆっくり座って移動できるから	()

質問はこれで終わりです。ありがとうございます。

世帯票

世帯の方全員
この調査票に記入してください。

■記入についてお願い

- ・記入は、なるべく黒の筆記具（ボールペン等）で世帯の代表者一人が記入してください。
- ・回答は、の部分（回答欄）に記入してください。
- ・回答欄に番号等がついている場合は、該当する番号等を○で囲んでください。
- ・回答欄に「」がついている場合は、該当する表から数字を選んで記入してください。
- ・世帯構成人員とは、住民票に記載されている方々をいいます。
- ・世帯構成人員6人以上の場合は、2枚目の世帯票を用いて、1人目を6人目に書き直して記入してください。

※こちらは記入不要です

問1～問4までお答えください。

問1 あなたの世帯の**現住所**についてお答えください。

宇都宮市 丁目 番 号 ※アパート名等は必要ありません。

問2 世帯で所有、または通常使用している自動車や二輪車の台数をお答えください。

乗用車 台 貨物自動車 台 自動二輪車 台 原動機付自転車 台 自転車 台

問3 世帯で支払っている1ヶ月当たりの自動車のガソリン代・軽油代をお答えください。

※ 総額(税込)を1,000円単位で四捨五入して記入
約 円
※ 0円の場合は「0」と記入

問4 あなたの世帯で同居されている方全員(5歳未満の方も含む)についてお答えください。 ※一重上の欄に記載されている何人目かは、個人票の「はじめに」に記入する番号になります。

世帯構成人員	記入例	世帯主 1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
世帯主との続柄 <small>表1 から選択</small>	{ 2 }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }
性別	1. 男 ② 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女
年齢 ※令和4年10月1日現在	68 歳	歳	歳	歳	歳	歳
職業 <small>表2 から選択</small>	{ 1 }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }
就業形態 <small>表3 から選択</small>	{ 4 }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }
勤務先・通学先・通園先の所在地 ※表2「職業」で1～22のいずれかを選んだ方のみ記入 ※「勤務先・通学先・通園先の所在地」と「現住所」が同じ場合は、市区町村の欄に「現住所と同じ」と記載していただいても結構です。 ※県外の場合も市区町村以降の記入で結構です。	宇都宮 ① 区 町 村 旭 7 ② 丁目 8 番 9 号	市区町村 丁目 番 号	市区町村 丁目 番 号	市区町村 丁目 番 号	市区町村 丁目 番 号	市区町村 丁目 番 号
建物名・目標物名 ○ 株式会社 ○ 学校						
勤務開始時刻 ※表2「職業」で1～19のいずれかを選んだ方のみ記入	① 固定されている 午前 9 時 30 分 午後 時 分 2. 固定されていない	1. 固定されている 午前 時 分 午後 時 分 2. 固定されていない	1. 固定されている 午前 時 分 午後 時 分 2. 固定されていない	1. 固定されている 午前 時 分 午後 時 分 2. 固定されていない	1. 固定されている 午前 時 分 午後 時 分 2. 固定されていない	1. 固定されている 午前 時 分 午後 時 分 2. 固定されていない
運転免許の保有状況 ※複数選択可	① 自動車 2. 自動二輪車 3. 原動機付自転車のみ 4. 持っていない 5. 返納した	1. 自動車 2. 自動二輪車 3. 原動機付自転車のみ 4. 持っていない 5. 返納した	1. 自動車 2. 自動二輪車 3. 原動機付自転車のみ 4. 持っていない 5. 返納した	1. 自動車 2. 自動二輪車 3. 原動機付自転車のみ 4. 持っていない 5. 返納した	1. 自動車 2. 自動二輪車 3. 原動機付自転車のみ 4. 持っていない 5. 返納した	1. 自動車 2. 自動二輪車 3. 原動機付自転車のみ 4. 持っていない 5. 返納した
自由に使える自動車の有無 ※自動車運転免許をお持ちの方のみ記入	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある 3. ない	1. ほぼ自分専用の自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. ない	1. ほぼ自分専用の自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. ない	1. ほぼ自分専用の自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. ない	1. ほぼ自分専用の自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. ない	1. ほぼ自分専用の自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. ない
外出に関する身体的な困難さ ※保護者の同伴が必要な幼児でも「身体的な困難」がなければ、「外出困難なし」を選択	① 外出困難なし 2. 外出困難はあるが一人で外出できる 3. 一部で介助者が必要 4. 常に介助者が必要 5. 基本的には外出できない	1. 外出困難なし 2. 外出困難はあるが一人で外出できる 3. 一部で介助者が必要 4. 常に介助者が必要 5. 基本的には外出できない	1. 外出困難なし 2. 外出困難はあるが一人で外出できる 3. 一部で介助者が必要 4. 常に介助者が必要 5. 基本的には外出できない	1. 外出困難なし 2. 外出困難はあるが一人で外出できる 3. 一部で介助者が必要 4. 常に介助者が必要 5. 基本的には外出できない	1. 外出困難なし 2. 外出困難はあるが一人で外出できる 3. 一部で介助者が必要 4. 常に介助者が必要 5. 基本的には外出できない	1. 外出困難なし 2. 外出困難はあるが一人で外出できる 3. 一部で介助者が必要 4. 常に介助者が必要 5. 基本的には外出できない
公共交通利用時の交通系ICカードtotra [®] の利用状況 ※Suicaの機能に加えて、交通ポイント制度・福祉サービスを受けることや、関東自動車・ジェイアールバス関東の定期券として利用できる交通系ICカード	① totraを利用している 2. 他の交通系ICカードを利用している 3. 利用していない	1. totraを利用している 2. 他の交通系ICカードを利用している 3. 利用していない	1. totraを利用している 2. 他の交通系ICカードを利用している 3. 利用していない	1. totraを利用している 2. 他の交通系ICカードを利用している 3. 利用していない	1. totraを利用している 2. 他の交通系ICカードを利用している 3. 利用していない	1. totraを利用している 2. 他の交通系ICカードを利用している 3. 利用していない

表1 世帯主との続柄

- 本人
- 配偶者
- 子
- 孫
- 兄弟・姉妹
- 父・母
- 祖父・祖母
- いとこ
- おじ・おば
- その他

表2 職業

●職業をお持ちの方

- 農林漁業、畜産、林産物生産等
- 鉱業、採石業、砂利採取業等
- 建設業 [土木、建築、設備工業等]
- 製造業 [自動車、工業製品、食料品等]
- 電気、ガス、水道業、下水道業等
- 情報通信業 [放送業、IT関連等]
- 運輸業、宅配 [旅客運送、貨物運送、倉庫業等]
- 卸売業、小売業 [各種商品の卸売、小売等]
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業 [不動産取引・管理等]
- 学術研究、専門・技術サービス業 [法律事務所、会計士、広告業等]
- 宿泊業、飲食サービス業 (宅配サービス含む)
- 生活関連サービス業、娯楽業 [理容、美容、スポーツ施設等]
- 教育、学習支援業 [学校教育、学習塾等]
- 医療、福祉 [病院、保健衛生、社会保険事業等]
- 複合サービス事業 [郵便局、農協等]
- サービス業 (他に分類されないもの) [自動車修理、職業紹介、廃棄物処理事業等]
- 公務 [国家公務員、地方公務員]
- その他 [回答欄に具体的に記入]

●職業をお持ちでない方

- 園児・小学生・中学生
- 高校生
- 大学生・短大生
- 各種専門学校生
- 主婦・主夫 (職業従事者を除く)
- 無職
- その他 (回答欄に具体的に記入)

表3 就業形態

- 正規の職員・従業員
- 派遣社員
- 契約社員
- パート・アルバイト
- 会社などの役員
- 自営業主
- 家族従業者
- 家庭内賃仕事 (内職)
- その他

令和4年度 都市活動調査 個人票

世帯票にご記入のうち、**5歳以上の方一人ひとり**について、調査票に記入してください。
「ご協力をお願い」に記載してある調査日を以下に記入してください。
 調査日：令和4年 月 日 曜日

■記入についてお願い
 ・記入は、なるべく黒の筆記具（ボールペン等）で記入してください。
 ・回答は、 の部分（回答欄）に記入してください。 ※こちらは記入不要です
 ・回答欄に番号等がついている場合は、該当する番号等を○で囲んでください。
 ・回答欄に〔 〕がついている場合は、該当する表から数字を選んで記入してください。

はじめに ※世帯票を回答した後に記入してください。
 世帯票であなたは何人目ですか、 人目 ※世帯票の1A～5Aからお答えください。
 ※世帯構成人員6人以上の場合は、2枚目の世帯票の数字を記入して下さい。

問1 調査日のあなたの行動についてお答えください。

当日午前3時～翌日午前3時までが対象です。

▶自宅に帰ることも移動の対象になります。
 ▶自宅または勤務先以外の場合は、具体的な所在地または建物名・目標物名（建物の名称、付近の有名な建物、停留所名など）を記入してください。
 ▶目的地（勤務先・自宅等）への移動途中に立ち寄ったコンビニ・売店等は、「行った場所」には含まれません。

調査対象日の 午前3時にいた場所

場所

1. 自宅 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
 3. 上記以外（住所と建物名・目標物名を記入）

市区町村 丁目 番地 号

建物名・目標物名

施設の種類の表1から選択

調査対象日に外出をしましたか？
 1. はい 2. いいえ → クラ面の問2～問7にお答えください。

1番目に行った場所

場所

1. 自宅 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
 3. 上記以外（住所と建物名・目標物名を記入）

市区町村 丁目 番地 号

建物名・目標物名

施設の種類の表1から選択

2番目に行った場所

場所

1. 自宅 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
 3. 上記以外（住所と建物名・目標物名を記入）

市区町村 丁目 番地 号

建物名・目標物名

施設の種類の表1から選択

3番目に行った場所

場所

1. 自宅 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
 3. 上記以外（住所と建物名・目標物名を記入）

市区町村 丁目 番地 号

建物名・目標物名

施設の種類の表1から選択

4番目に行った場所

場所

1. 自宅 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
 3. 上記以外（住所と建物名・目標物名を記入）

市区町村 丁目 番地 号

建物名・目標物名

施設の種類の表1から選択

1番目の移動

出発時刻 到着時刻

移動の目的 表2から選択

同行人数 表2から選択

交通手段 表3から選択

所要時間

乗換地点

自動車または二輪車（自転車を含む）を利用した方

あなたが運転した 駐輪場所

表4から選択

2番目の移動

出発時刻 到着時刻

移動の目的 表2から選択

同行人数 表2から選択

交通手段 表3から選択

所要時間

乗換地点

自動車または二輪車（自転車を含む）を利用した方

あなたが運転した 駐輪場所

表4から選択

3番目の移動

出発時刻 到着時刻

移動の目的 表2から選択

同行人数 表2から選択

交通手段 表3から選択

所要時間

乗換地点

自動車または二輪車（自転車を含む）を利用した方

あなたが運転した 駐輪場所

表4から選択

4番目の移動

出発時刻 到着時刻

移動の目的 表2から選択

同行人数 表2から選択

交通手段 表3から選択

所要時間

乗換地点

自動車または二輪車（自転車を含む）を利用した方

あなたが運転した 駐輪場所

表4から選択

表3 交通手段

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

表4 駐車・駐輪場所

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

表3 交通手段

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

表4 駐車・駐輪場所

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

表3 交通手段

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

表4 駐車・駐輪場所

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

表3 交通手段

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

表4 駐車・駐輪場所

移動① 移動② 移動③ 移動④ 移動⑤

▶自宅に帰る移動も忘れずに記入してください。5番目以降の移動はクラ面へ。
 ▶クラ面の問2～問7にお答えください。

- 表1 施設**
- 住宅・寮
 - 学校・教育施設・幼稚園・保育施設
 - 文化・宗教施設
 - 医療・厚生・福祉施設
 - 事務所・会社・銀行
 - 官公庁
 - スーパー・デパート・ショッピングセンター
 - その他商業施設・娯楽施設
 - 宿泊施設・ホテル
 - 工場・作業所
 - 交通・運輸施設
 - 倉庫・物流ターミナル
 - その他の施設

- 表2 目的**
- 業務系の目的
- 勤務先へ（帰社を含む）
 - 販売・配達・仕入・購入先へ
 - 打合せ・会議・集金・往診へ
 - その他の業務へ
- 娯楽系の目的
- 通学・通園先へ（帰校を含む）
 - 日用品（食料品、日用消耗品等）の買物へ
 - 日用品以外の買物へ
 - 食事・社交・娯楽へ（日常生活圏内）
 - 散歩・ジョギング・運動へ
 - 作業・修理へ
 - 農林漁業作業へ
 - その他の業務へ
 - 観光・行楽・レジャーへ（日常生活圏外）
 - 通院
 - 送迎
 - つきそい
 - その他の私用へ（塾・習い事など）

- 表3 交通手段**
- 徒歩
 - 自転車
 - 原動機付自転車（50cc以下）
 - 自動二輪車（50ccを超える）
 - タクシー・ハイヤー
 - 地域内交通
 - 乗用車・軽乗用車
 - レンタカー・カーシェア
 - 貨物自動車・軽貨物車（ライトバンを含む）
 - 自家用バス・貸切バス（送迎バスを含む）
 - 路線バス（高速バスを含む）
 - 私鉄（東武など）
 - JR在来線
 - 新幹線
 - その他

- 表4 駐車・駐輪場所**
- 駐車・駐輪した場合
- ＜道路外＞
 <有料>
 1. 戸前
 2. 時間貸し
 3. 店舗等の駐車場・駐輪場
 4. 自宅車庫・自宅敷地内
 5. 勤務先・通学・訪問先の敷地内
 6. 店舗等の駐車場・駐輪場
 7. 駅前広場
 8. その他の空き地など
- ＜道路上＞
 9. 有料 [パーキングメーター] [パーキングチケットなど]
 10. 無料
- 駐車・駐輪しなかった場合（停車のみ等）
 11. 駐車・駐輪しなかった

令和4年度 都市活動調査 個人票

4番目に行った場所(前ページ)

次に行った「場所」までの「移動」の内容を右の欄に記入

5番目に行った場所

場所
1. 自宅... 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
3. 上記以外(住所と建物名・目標物名を記入)

市区町村 丁目 番地号

建物名・目標物名

施設の種類 表1 から選択 () 番

次に行った「場所」までの「移動」の内容を右の欄に記入

6番目に行った場所

場所
1. 自宅... 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
3. 上記以外(住所と建物名・目標物名を記入)

市区町村 丁目 番地号

建物名・目標物名

施設の種類 表1 から選択 () 番

次に行った「場所」までの「移動」の内容を右の欄に記入

7番目に行った場所

場所
1. 自宅... 2. 普段の勤務先・通学先・通園先
3. 上記以外(住所と建物名・目標物名を記入)

市区町村 丁目 番地号

建物名・目標物名

施設の種類 表1 から選択 () 番

5番目の移動

出発時刻 到着時刻

移動の目的 表2 から選択 () 番

同行人数 表3 から選択 () 番

交通手段 表3 から選択 () 番

表3 所要時間 () 分 () 分 () 分 () 分 () 分

表4 表4 から選択 () 番

6番目の移動

出発時刻 到着時刻

移動の目的 表2 から選択 () 番

同行人数 表3 から選択 () 番

交通手段 表3 から選択 () 番

表3 所要時間 () 分 () 分 () 分 () 分 () 分

表4 表4 から選択 () 番

7番目の移動

出発時刻 到着時刻

移動の目的 表2 から選択 () 番

同行人数 表3 から選択 () 番

交通手段 表3 から選択 () 番

表3 所要時間 () 分 () 分 () 分 () 分 () 分

表4 表4 から選択 () 番

自宅に帰る移動も忘れずに記入してください。
8番目以降の移動がある方は、サポートセンターにご連絡ください。

問2以降は、活動についてご回答ください。

《職業をお持ちの方又は学生の方のみお答え下さい》

問2 調査日の午前3時～翌日午前3時まで、自宅で仕事をしたり、オンライン授業を受けましたか？
※自宅での仕事とは、在宅勤務(企業に勤務する被雇用者が、自宅を就業場所とする働き方)を指します。
※自営業の自宅兼店舗での仕事は含みません。

1. 自宅で仕事をした、あるいは授業を受けた
▶どのくらいしましたか? 時間 () 分
▶それは新型コロナウイルスの影響によるものですか? 1. はい 2. いいえ

2. どちらもなかった

《職業をお持ちの方のみお答え下さい》

問3 調査日の午前3時～翌日午前3時まで、所属組織外の人(取引先等)や所属組織の他支店の人とオンライン会議をされましたか？

1. した
2. なかった

《すべての方にお答えください》

問4 調査日の午前3時～翌日午前3時まで、自宅で、育児・介護・看護等をされましたか？

1. した
2. なかった

《すべての方にお答えください》

問5 ここ1週間で、デジタルコンテンツを1日あたり何時間利用しましたか？
※スマートフォン、PC等での音楽、映画、ゲーム、動画配信サイト等の利用(利用した場所は問いません)。

1日あたり (平日)平均 () 時間 (休日)平均 () 時間

《すべての方にお答えください》

問6 日用品の購入時における、ネットショッピングの利用について
※食料品、日用品等の購入(ネットショッピングをした場所は問いません)

① 調査日の午前3時～翌日午前3時までにご利用しましたか？
1. 利用した
2. 利用しなかった

② ここ1週間で何回利用しましたか？
(平日) () 回 (休日) () 回

《すべての方にお答えください》

問7 日用品以外(衣類、家具、家電等)の購入(ネットショッピングをした場所は問いません)

① 調査日の午前3時～翌日午前3時までにご利用しましたか？
1. 利用した
2. 利用しなかった

② ここ1週間で何回利用しましたか？
(平日) () 回 (休日) () 回

表1 施設	表2 目的	表3 交通手段	表4 駐車・駐輪場所
1. 住宅・寮 2. 学校・教育施設・幼稚園・保育施設 3. 文化・宗教施設 4. 医療・厚生・福祉施設 5. 事務所・会社・銀行 6. 官公庁 7. スーパー・デパート・ショッピングセンター 8. その他商業施設・娯楽施設 9. 宿泊施設・ホテル 10. 工場・作業所 11. 交通・運動施設 12. 倉庫・物流ターミナル 13. その他の施設	業務系 の目的 1. 勤務先へ(弊社を含む) 2. 販売・配達・仕入・購入先へ 3. 打合せ・会議・集金・往診へ 4. 作業・修理へ 5. 農林漁業作業へ 6. その他の業務へ 私生活 の目的 7. 通学・通園先へ(学校を含む) 8. 自宅へ 9. 日用品(食料品、日用品消耗品等)の買物へ 10. 日用品以外の買物へ 11. 食事・社交・娯楽へ(日常生活圏内) 12. 散歩・ジョギング・運動へ 13. 観光・行楽・レジャーへ(日常生活圏外) 14. 通院 15. 送迎 16. つきそい 17. その他の私用へ(習い事など)	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原動機付自転車(50cc以下) 4. 自動二輪車(50ccを超える) 5. タクシー・ハイヤー 6. 地域内交通(デマンドタクシー等) 7. 乗用車・軽貨物車 8. レンタカー・カーシェア 9. 貨物自動車・軽貨物車(ライトバンを含む) 10. 自家用バス・貸切バス(送迎バスを含む) 11. 路線バス(高速バスを含む) 12. 私鉄(東武など) 13. JR在来線 14. 新幹線 15. その他	●駐車・駐輪した場合 <道路外> 1. 月極 2. 時間貸し 3. 店舗等の駐車場・駐輪場 <道路上> 9. 有料 [パーキングメーター / パーキングチケットなど] 10. 無料 ●駐車・駐輪しなかった場合(停車のみ等) 11. 駐車・駐輪しなかった